



発行日 平成 23 年 5 月 10 日
発行者 衣川台自治会総務部
世帯数 343 世帯

東日本大震災におきまして、被害にあわれた皆様に心よりお見舞い申しあげるとともに、犠牲になられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみを申し上げます。

春号の内容

1. 平成 23 年度 衣川台自治会新役員名簿
2. 23 年度年間行事予定
3. 新役員のあいさつ、傘下団体、同好会紹介
4. 衣川台春祭り報告

1. 平成 23 年度 衣川台自治会新役員が決定、1 年間よろしくお願いします

役職	役割	氏名	組	役職	役割	氏名	組
自治会長	自治会総括	岡田 融	10	環境保全	ゴミ衛生、公園管理	中村 修三	8
副会長	環境保全部長	原田 隆司	7	同	街路灯、カーブミラー	板花 功	10
同	総務部長	平川 美智子	13	文化体育	文化体育活動	田村 修二	7
同	文化体育事業部長	有田 誠	1	同	同	厚海 誠	4
会 計	経理	岩城 悟	6	同	同	中正 弘子	11
会計監査	経理監査	倉岡 真知子	2	同	同	山鹿 美智子	9
総務部	衣川台だより	中谷 信次	1	同	同	栗原 久妙子	5
同	書記	浦和 郁子	15	同	同	中村 祥子	2
同	掲示板、印刷機	浅川 敬三	12	同	同	馬場 しげ子	3
同	北自治会館管理	田村 芳子	6				
同	南自治会館管理	岩田 武良	14	連合会	役員	飯田 雅史	2
環境保全	環境整備、防犯	大庭 朱美	13	同	福祉委員	山口 信治	15

2. 23 年度年間行事予定

時期	行事内容	時期	行事内容
4 月	衣川天満宮春祭り実施	10 月	仰木の里学区運動会参加
5 月	大津市への要望事項の内容検討 仰木の里学区スポーツ大会参加 (ソフトボール大会)	11 月	赤い羽根募金活動の実施 仰木の里学区文化祭参加 仰木の里フェスタ 2011 参加
6 月	春の天神川清掃実施 緑の募金と日赤社資の募金活動の実施 仰木の里学区スポーツ大会参加 (バレーボール大会) 大津市へ要望書提出	12 月	秋の天神川清掃実施 衣川台年末一斉清掃 歳末助け合い募金活動の実施
7 月	琵琶湖一斉清掃(衣川台内)実施 仰木の里学区子どもフェスタ参加	1 月	次年度役員候補の選出 仰木の里学区スポーツ大会参加 (卓球・バドミントン・親子で走ろう大会)
8 月	衣川台夏祭り実施	2 月	交通災害共済申込み受付開始 新旧役員会議開催(引継ぎ等) 仰木の里学区スポーツ大会参加 (ボーリング大会)
9 月	仰木の里学区敬老会参加 仰木の里学区軽スポーツ大会参加 (グランドゴルフ・インディアカ大会)	3 月	平成 24 年度自治会・環境維持管理組合総会

3. 新役員のあいさつ(役員順)

自治会長(自主防災部長)

岡田 融(10組)

日を追って伝えられる惨状に胸がつぶれる思いがいたします。被災地を覆う深い悲しみに、ただひたすらに鎮魂の祈りを捧げます。

一方で善意の輪が広がり、思いやりや助け合いを忘れない日本人の心根を熱く感じます。

衣川台自治会の今年度の重点取組事項として、いみじくも「災害に強い町づくり」と「住民相互のふれあいを深める」ことを掲げています。

優れた科学や技術力を以ってしても、大自然の超破壊的なメカニズムの対応には、いかに無力であるかを思い知らされました。しかし私たちは逃げることはできません。

キーワードは「備えと構え」。まず自衛の機運を高めること。そしてご近所とのつながりから緒につきます。そのことが地域の絆となり自助から共助への組織的なつながりに期待しています。「安心・安全な町づくり」を目指して、この一年間地道ながら微力を尽くします。皆様のご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

副会長(環境保全部長)

原田 隆司(7組)

衣川台に住むようになったのは自治会が設立された昭和55年の7月からで、自治会の役員は3回目です。昭和57年度に自治会会長をした時には、私も含めほとんどの役員の家庭には小学生や幼稚園児がいました。今年度の役員の顔ぶれを見て、自治会の役割や期待の内容が変わってきたことを実感しています。「清潔で、安心・安全なまちづくり」を目指して、役目を果たしたいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

仰木の里との連絡道路については、平成17年度に道路問題委員会が発足以来、長期にわたり市との折衝が続けられて、平成23年1月に着工の運びとなりました。今後は、自治会に環境保全部長を委員長とする新連絡道路委員会を設置し、工事中の安全・安心(特に通学児童に対する)に関する住民の要望に対応するとともに、建設される新道路の進捗状況を把握し、要望事項に沿ったものかどうかを注視していくこととなりました。

総務部長

平川 美智子(13組)

引き継ぎでいただいた書類の量にびっくりしました。しばらくは、これほど几帳面にこなしてゆけるだろうかという気持ちでいっぱいでした。気持ちの切換えにと、何度も大きく深呼吸しました。繰り返す度に気持ちが和み、身体のあちこちが多いに鈍くなった今、この役割を務めさせていただき身体中を刺激してくれるのではと考え、気持ちも落ち着きました。会長はじめ、各組長さんのお力をお借りしてがんばってゆこうと思っています。よろしくお願い致します。

文体部部长

有田 誠(1組)

日本は戦後 65 年高度経済成長の波に乗りひたすら走り続けて来ました。資本原理主義的思考に翻弄されかつて営々と築き上げてきた日本の良き文化を忘れて「隣は何をする人ぞ」などという言葉に表される程、人の繋がりが希薄になっていました。

3月11日の東日本大震災以降、日本人は忘れかけていた家族や地域の人々との繋がりが如何に大切であるかという事を再認識しました。人と人との繋がりが「絆」無しでは人は到底生きる事が出来ないと思ったのは私一人では無いと思います。

縁あって衣川台に住み、自治会会員として一緒に歩む仲間が、より一層強い絆を結ぶ事が出来るよう微力ではありますが、文体部長として努めていくつもりです。

何卒、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

会 計

岩城 悟(6組)

衣川台で生活を始めて今年で28年目になります。この間約25年は大阪まで通勤するサラリーマン生活でしたが、数年前に仕事から解放され趣味を楽しみながら新しい仲間と繋がりを持てるようになってきました。

ただ衣川台を含め地域に根を下ろせないままにいましたが、この度、自治会の会計を担当する事になり、これを機に地元で少しでも恩返し出来ればと思っています。

微力ですが精一杯頑張ります。皆様のご協力とご指導よろしくお願い致します。

自主防災部よりのお願い

副部長 青谷 達雄(4組)

東日本大震災から1カ月、我が町もびわこ西岸断層は確率が下がったとは言え、いつ起こるか…?

長年(6年間)自主防災部リーダーとして原田 様、軸丸 様、池田 様 等と築かれて来た衣川台自主防災部、これからを大切に継続しながら取り組んで参ります。

今年度は共助の第一歩、要援護者を含む被災時の安否確認のシステムの完成とその訓練を重要課題とし、衣川台に住む全員が安心して生活できる事を願っています。しかし乍ら今、決して全世帯、自助を含めグループの絆が計られているとは言いきれない面があります。一気に出来るものではありませんが、活動員の募集を含め、皆様の防災意識の啓蒙に役員一同、全戸にローラー展開出来ればと思っていますので御理解と御協力の程よろしくお願い致します。

又、活動員として活躍していただいている方々には平常時の活動として各班で班会議等に出席頂き、皆様の意見を今後の運営に生かして行きたいと思っています。

訓練につきましては今まで全体で行ってききましたが、参加者の固定化、また現場でどんな苦労があるのか何か問題があるのか等々、計画する側が現場を見、皆様の意見を聞きながらの組別訓練を予定しています。組・グループの絆を築ききっかけになれば幸いです。

3. 傘下団体、同好会の紹介

衣川台老人クラブ みどり会会長 山口 信治(15組)

自治会傘下の活動団体の1つ衣川台老人クラブにボクが属しています。助成金をいただき活動しており、活動をとうし何にいくら使ったかを報告する時期になっております。そこで今回はみどり会のとくしよくを数字でつづる“香り”でお届けすることにしましょう。

現在71名の会員、衣川台にお住まいの70歳以上高齢者の46パーセント約半数の方が加入しています。第二は100歳会員がお二人もおられることです。(里学区に3人)。第三は90歳以上の会員がなんと17名、4人に一人、当然平均年齢が79.7歳、みなさん80歳以上という香りをかもち出しています。男女比はバランスのとれた半々の構成。そして最も厳しい数字の評価は25パーセントの出席率です。4人に一人が出席していることとなりますが今後努力を要する課題の一つです。兎角芳しい老いの香りを放っています。道行く人の足を止める草花のように、一度来て嗅いでみていただけませんか。

文責 やまぐちしんじ

謡曲同好会 (松韻会) 代表 三林 隆夫(12組)

同好会の会員は9名(男2、女7名)で、発表会を最近是真野地区の同好会及び堅田地区の同好会と合同で行っています。

先日謡曲と歌を混同しておられる方があったので驚いています。それも一人や二人ではなかったので少し説明いたします。能はわかりやすく云いますと人と楽器で演ずるオペラ形式の芝居です。その内の人々の台詞だけを取り出したものが謡(謡曲)です。そこには歴史があり地理があり百人一首等の和歌や漢詩やお経、祝詞まであって勉強の助けとなり、作法の習慣まで身につきますので狂言と共に小、中学校の生徒の間にブームを引き起こしつつあります。

土曜日の9時半から12時まで及び木曜日の16時から18時まで南自治会館で稽古をしています。興味がある方は冷やかに来てみて下さい。

衣川台オアシス 代表 田中正彦(11組) 全国に知られたサロンに参加を

衣川台オアシスの「おしゃべりサロン」は昨年度34回開き、延べ843人の皆さまが参加していただきました。1回あたりの参加者はスタッフも含めて24名です。

衣川台オアシスは、滋賀県内はもとより他府県に広くその活動状況が知られています。岐阜県社会福祉協議会の皆さま(平成21年9月)、岐阜県輪之内町社会福祉協議会の皆さま(平成22年3月)、彦根市稲枝地区社会福祉協議会の皆さま(平成21年11月)、近江八幡市島地区社会福祉協議会の皆さま(平成22年11月)などが訪ねて来られ、ふれあいサロンの様子を見ていただくと共にスタッフ参加者ともども意見交換交流を深めました。

また、地元の仰木の里社会福祉協議会はもとより大津市社会福祉協議会からボランティア行事保険掛金助成や助け合い募金の配分金交付を受けるなど、衣川台オアシスのふれあいサロン活動状況が認められ、さまざまな支援をいただき、スタッフ一同大変喜んでいるところです。

一方、衣川台のみなさまからは、リサイクル・アルミ缶回収を通じて衣川台オアシスの運営に多大のご協力をいただいております。ますます地域に貢献する「おしゃべりサロン」の展開を目指さなければならないと強く感じています。

まだまだ、衣川台の皆さまの中に「おしゃべりサロン」へ参加いただいていない方がいらっしゃいます。全国に知れ渡っている衣川台オアシスを地元の方が知っていないと云うことのないように、ぜひとも一度は「おしゃべりサロン」にご参加下さい。お待ちしております。



毎月3回(第1、第2、第3木曜日)衣川台南自治会館に楽しそうに人が集まります。

まず駅前スーパーへのお買い物サポートの車が出発します。お年寄りのお買い物の足として、スタッフが車で送り迎えします。その間お茶を飲みながらおしゃべりをしている人もいます。午後は「椅子に座ってできるエアロビ」「みんなで歌いましょう」などを、それぞれの先生が楽しく指導してくださいませ。「手芸編み物」の時間もあります。お花見会、七夕とクリスマス集いの集いや近くへのバス旅行を、スタッフも一緒に楽しみます。



現在の悩みはスタッフが増えないことです。スタッフと言ってもお当番は月一回ですし、そのほか時間の余裕のあるとき参加してくださればよいのです。行事の折りにマジックや楽器の演奏をしてくださる方がいて、とても助かっているのですが、もっともっと隠れた名人芸を衣川台オアシスで見せていただけませんか？

お宅にお年寄りがいられたら、一度木曜日に覗いてみてください。

くわしいことを知りたい方は、代表者までお電話下さい。

衣川台オアシス 代表 田中正彦

TEL 077-573-3230

携帯 090-2066-0220

E-mail: tanaka3230@ybb.ne.jp

衣川囲碁同好会

会長 福井 末敏(14組)

今年もさくらの季節になり新しい自治会役員の皆様今年一年ご苦労様です。
囲碁のすばらしさを知って頂きたくあたたかい仲間をお待ちしております。

今、衣川囲碁同好会はメンバーの高齢化、時代の変化による存続のピンチに立たされ、役員一同もうアカンと言いつつ灯りを灯しています。

黒と白、一手一手のおりなす模様が打ち手の意思となって盤上を駆け巡り悲喜こもごも無意識のうちに愚痴ったり頭を叩いたり、してやったりと無我の境地に入ります。

勝つには創造性、石の効率、バランスが求められることが囲碁の魅力となっています。

対外的には春と秋、坂本囲碁同好会の大会に参加し交流を深めております。

例会は、北自治会館、毎週(土)19時
連絡は、福井(14組) 572-4004

衣川台子ども会

会長 津谷 美雅子(2組)

平成23年度の子ども会は、41世帯53人のスタートとなりました。子どもをまん中に保護者会員と役員が手と手を取り合って、より充実した活動なればと願っています。

恒例の新学期当初の『通学路の安全指導』では集団登校指導に重点的を置き、1年間安全に学校に通えるよう、班列の並びや信号の渡り方等について、役員と保護者会員が助言をいたしました。今後も折り折りに指導を重ね、登下校時見守ってくださる近隣の方々にも、気持ちの良い挨拶ができる子どもになってくれればと思います。

衣川天満宮の春祭り参加を皮切りに、夏祭り、レクリエーション、歓送迎会といったお楽しみ行事があるほか、『琵琶湖一斉清掃にともなう通学路清掃』『年末一斉清掃』『夏季ラジオ体操時の公園の美化活動』では子ども達も力を合わせて働きます。最後に、廃品回収(毎月第3日曜)では全戸の皆様のご協力を賜ります。よろしくお願い申し上げます。

育児サークルたまたま箱

代表 藤原 美代(11組)

育児サークルたまたま箱は、未就園児のお子さまとお母さんのためのサークルです。

たまたま箱は子供のためだけでなく、子育て中のお母さん自身も楽しみ、集う中で自らも成長できれば、という思いから育児ではなく、育児(自らも育とう)サークルと名づけました。

活動は、毎月第1・3金曜日に南自治会館をお借りして行っています。月2回のうち、1回は簡単な工作や季節に合わせたイベントを企画し、もう1回はお茶を飲みながらおしゃべりをし、ゆったりすごしていただける時間を設けています。

活動を通して、親と子、子供同士はもちろん、お母さん同士も交流しながら楽しく過ごせる憩いの場となることを願っています。

衣川台にお住まいの子育て中のみなさま、ぜひ一度たまたま箱を見にいらしてください。

お待ちしております。

なお、5月の活動日は都合により、第1・4金曜日とさせていただきます。

たまたま箱 スタッフ一同

衣川台オアシス公園愛護会 代表世話人 田中正彦(11組)

心地よい汗をかきましょう

我が家はもちろんのこと自分たちの住んでいる街全体が清潔であると言うことは気持ちの良いものです。

南公園、北公園、西公園、史跡衣川廃寺跡、西羅古墳など子どもの遊び場の整った街、歴史文化の香が深いわたくしたちの街は、極めて恵まれた環境であると思います。

公園はもとより天神川沿い堤防や路側帯の雑草を刈り取り草花の育成を、ふんの後始末用袋を持たずに犬の散歩をすることのないように、ペットボトルや空き缶ポイ捨ての無いように等々、わたくしたちの街の環境美化に精を出しているのが公園愛護会のみなさまです。

発足10年目を迎えて4月から愛護会の内規を定めました。「自ら汗を流し、衣川台地域の住みやすい、より良い環境保持向上を目指す作業へ積極的に参加し、無償奉仕(ボランティア活動)の喜びを体得するとともに近隣住民との親睦交流を尚一層深めることとする」と目的を掲げました。昨年度も、自治会主催の琵琶湖一斉清掃作業や天神川を美しくする会清掃作業、みどり会「社会奉仕の日」清掃作業等に積極的に参加し、南公園など除草清掃作業は13回行い、廃寺跡除草作業には年間3回延べ88人の参加をいただきました。

作業完了後の汗は実に心地よいものです。是非ともご参加下さい。



エアロビック

山岡 雅子(15組)

毎週南自治会館にて、ストレッチをメインに音楽に合わせてやさしく体を動かしています。

衣川台シルバース:毎週火曜日 13時30分~15時

70歳以上を対象とし、椅子に座ってストレッチ、音楽に合わせた体操など

衣川台メイト:毎週金曜日 14時30分~16時30分

ストレッチ、エアロビック等々。

運動不足の方や、興味のある方、ぜひ一度足をお運びください。



4. 春まつり 報告



桜満開の中、ふれ太鼓が軽やかに響き渡り祭り
気分を盛り上げてくれました。
子供たちの一丸となった姿に感動しました。

東日本大震災の悲しみの中、宵宮が中止とな
り本宮の開催も危ぶまれた今年の春祭りでは
たが、本宮は例年通り執り行われ、子ども会の協
力もあり盛り上げることが出来ました。

いつになく長い冬が続き桜の開花も遅れた
ため、思いがけず満開の桜と雪柳をめでながらの神輿巡行となり青く澄ん
だ空の下、子供たちの可愛い「ワッショイ、ワッショイ」の掛け声と共に途
中一回の休憩をはさんで南公園まで巡行しました。

衣川台も第一世代の高齢化が進み年々神輿の担ぎ手も事欠く現状です
が、呼びかけに二世の方たちが快く受けてくださり、役員は無事初仕事を終
え胸をなでおろしました。

これから夏祭り、運動会など大きな行事が続きますが、皆様の御協力を得
て務めを果せますようにと神前に祈った次第です。



協力のお礼

ご寄付をいただきました。

衣川台老人クラブ	みどり会 様	池田 明 様 (10組)
織戸 税理士事務所	様	岡田 融 様 (10組)
(株)もなみ	様	田中 正彦 様 (11組)
		山口 信治 様 (15組)

子供会の保護者他大勢の方々にご協力いただきありがとうございますご
ざいました。 役員一同、心からお礼申し上げます。

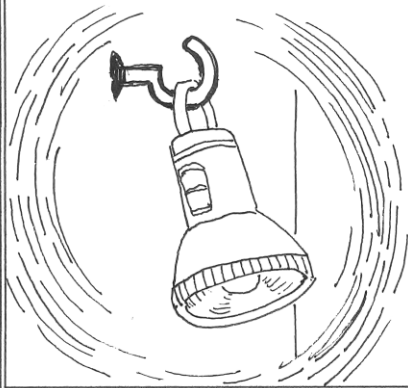




なまずコーナー

—地震による停電に備えて—

懐中電灯は、壁や柱など、すぐに手の届くところに！

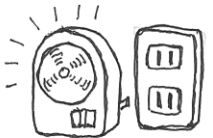


Mさん談



阪神淡路大震災の時、上から落ちてきた物で
押入に入れてあった懐中電灯を取り出せ
ませんでした。

※コンセントに差し込んで停電時に点灯し、外すと
懐中電灯にもなる便利な物もあります。



環境保全部よりのお知らせ

今後の予定、例年恒例の衣川台およびその周辺を美しくする活動として、次のことを予定しています。

- 1) 天神川を美しくする会の「天神川一斉清掃」
6月中旬(日程未定)なお、天神川を美しくする会では、国道161号線からJRガードの間の天神川沿いに鯉のぼりを立てました(4月10日～5月7日)。
- 2) 「琵琶湖一斉清掃」(7月3日)
いずれも詳細は現時点で未定です。後ほど詳細をご連絡しますので、ご協力をお願いします。

文体部よりお知らせ

ソフトボール大会 5月29日
バレーボール大会 6月19日 に開催されます。
奮って参加ください。

平成23年度総会 議事報告

- 1号議案 平成22年度事業報告(自治会、自主防災部)
- 2号議案 平成22年度会計報告と会計監査報告
- 3号議案 ①北倉庫明け渡しと新倉庫計画について
②衣川台、仰木の里連絡道に関する件
③堅田駅前西口土地区画整理事業に関して
- 4号議案 ①慶事等涉外細則で衣川天満宮春祭り
祭礼列席時の玉串料を10,000円に改定
②ビッグパワーテント管理規約を細則に改定し、
保管場所を改定
- 5号議案 平成23年度役員選任
- 6号議案 平成23年度事業計画
- 7号議案 平成23年度予算計画

総務部よりのお知らせ。

南自治会館 男子トイレの便器の修理いたしました
南自治会館 通路の元墳丘の残土の撤去をしました
北自治会館 玄関右側扉ガラスの補修いたしました

入会の方 松井 亮 様(4組)
村川 秀一 様(4組)
田村 孝二 様(7組)

退会の方 伊藤 周一 様(8組)
新宮 秀城 様(12組)

会長よりひとこと

新しい年度の自治会活動も、やっとギョチなさが和らぎ
役員のみなさんもそれぞれの役割を認識し、お互い気心も
通じ合って、動きもスムーズになってきました。
昨今は暗いニュースが多く様相は沈滞していますが、春祭り
では衣川台に子供たちのハジケるような歓声が響き亘りま
した感動的でした。

ささやかでも、安らぎの幸せなひと時を感じるような地域
空間をもたらしたい。 願ひだけは大きく、住民のみなさま
と手を携えて絆を深めよう。役員一同の思いです。

衣川自治会のホームページ
<http://www.kinugawadai.com/>

編集後記

衣川台だよりを担当することになりました中谷(1組)です。
この一年よろしくお願ひします、春号は東日本大震災のお悔
やみで始まりますが、自治会のいろんな情報紙として明るい
記事を書きたいと思っています。自治会員の皆さんの記事をお
待ちしております。

出来ればメールにてお願ひします。

パソコンメール ndr911542.jp@yahoo.co.jp

携帯メール ndr911542.jp@ezweb.ne.jp